

高齢者の交通事故を防止しましょう



高齢者を対象とした単車の実技指導

全国的に高齢者の交通事故死亡事故が増えています。今回、「高齢者交通事故防止重点警察署」の指定を受けている加西警察署と連携して市内にお住まいで65歳以上の運転免許取得者の皆さんにアンケート調査を実施しました。

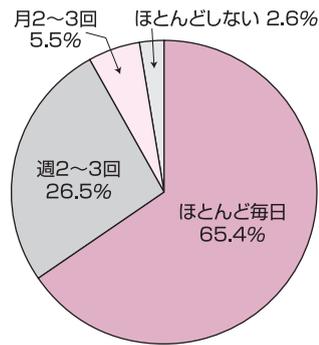
その結果、3,077人(男性2,104人・女性973人)の方にご回答いただきました。

① 運転している車の種類は？

運転している車両の約半数は「軽四自動車」です。残りは「普通車」が30%、「単車」が20%となっています。

② 運転の頻度は？

「ほとんど毎日運転」している方が65%を超えています。



③ 運転目的は？

運転目的は、約40%が「買い物」。「仕事」「通院」がそれぞれ約25%です。

④ 何歳まで運転を続けますか？

80歳を超えても運転する方が80%を超えています。

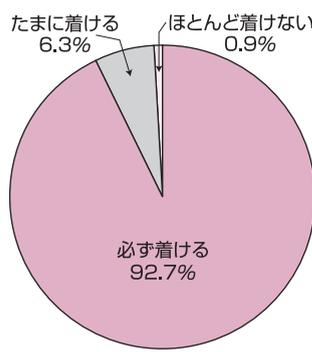
運転は、いへら注意をしても注意しすぎ、ということとはありません。どんなにベテランのドライバーであっても、現実には、視力、瞬時の判断力、運転能力やブレーキを力いっぱい踏み込む脚力などが低下しています。十分な注意と安全運転を心がけ、交通事故を起こさないよう、また交通事故に合わないようにはしましょう。

⑤ 運転する時間帯は？

ほとんどの方が「昼間」の時間帯に運転しています。

⑥ シートベルトを着用していますか？

ほとんどの方が装着しています。



⑦ 同乗者のシートベルトは？

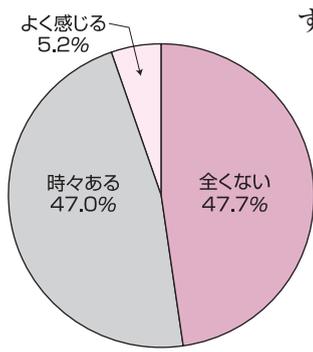
助手席でのシートベルト装着は約70%です。

⑧ 高齢者マークを付けていますか？

付けている方は約15%です。

⑨ 身体の衰えを感じますか？

全く感じない方が約半数です。

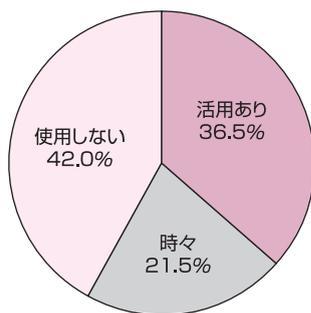


⑩ 青信号で渡りだしたのに...

歩くのは思ったより時間がかかります。(10mの横断歩道を渡るのに約9~13秒もかかります)無理はしないで、余裕をもって渡りましょう。

⑩ 夜光反射材を活用していますか？

活用している方は約40%で、全く使用しない方が約40%もいます。



反射材は夕方から夜間の交通事故防止に有効です。反射材を付けている方は、ドライバーから約120m離れていても見えるそうです。車のヘッドライトは通常下向きです。光が最初に当たるところは足元なので、反射材を靴の裏やかかとなどに貼るとより効果的です。

高齢者マーク知っていますか？



「高齢者マーク」は、70歳以上のドライバーが車につけるマークで、オレンジと黄色のツートーン。このマークを見たら思いやりのある運転をしてください、という意味があります。高齢ドライバーはスピードが控えめで、車間距離を多くとって走る一方、車の流れに乗れなかったり、進路変更や右左折、駐車場などで手間取ることがあります。でも、イライラせず待つてあげてください。割り込みや幅寄せなどもつてのほかです。

200日間交通死亡事故ゼロを記録



兵庫県交通安全対策委員会より表彰されました。皆さん今後とも安全運転を心がけましょう!